2023 年 10 月 25 日

新型 BMW X2 誕生

BMW X2 初: 電気自動車をラインアップ
M パフォーマンス・モデル BMW X2 M35i xDrive をラインアップ

ビー・エム・ダブリュー株式会社（代表取締役社長: 長谷川正敏）は、プレミアム・スモール・コンパクト・セグメントにおける唯一の SAC（スポーツ・アクティビティ・クーペ）「BMW X2（エックスツー）」の新型モデル（全面改良）を、全国の BMW 正規ディーラーにおいて、本日より販売を開始する。納車は、BMW X2 xDrive20i（エックスドライブニーマルアイ）は 2024 年第 1 四半期以降を、BMW X2 M35i xDrive（エムサンゴーアイ・エックスドライブ）および BMW iX2 xDrive30（アイエックスツー・エックスドライブサンマル）は 2024 年第 2 四半期以降を、予定している。

BMW X2 は、BMW X モデルらしいオフロード性能と顧客の創造性を駆り立てる都会的な存在感を併せ持つ SAC である。スタイリッシュなクーペ・デザインを取り入れることにより、都会でも、郊外でも、あらゆる走行シーンに適したモデルである。他の BMW X モデル同様に、様々な特長を備えながら、特に、高いアイ・ポイントがドライブ時に安心感をもたらすセミ・コマンド・シート・ポジション、開放感のあるインテリア・スペース、多彩な収納機能、自由自在にアレンジ可能なリア・シートなど、アクティブなライフスタイルにも柔軟に対応する使い勝手の良さと、BMW ならではの俊敏で爽快な走りを兼ね備えた、プレミアム・スモール・コンパクト・セグメント唯一の SAC である。

BMW X2 は 2018 年に初代モデルが誕生し、誕生から第二世代目となる新型 BMW X2 は、外装、内装共に、どの角度から見ても力強くもモダンで、シンプルながらも洗練された印象を与えている。BMW カーブド・ディスプレイの採用や、iDrive コントローラーの廃止など、ユーザー・インターフェースにおいても、大幅なデジタル化が行なわれている。さらに、第二世代 BMW X2 においては、電気自動車 BMW iX2（アイエックスツー）を、ラインアップする。

メーカー希望小売価格（消費税込み）

モデル	メーカー希望小売価格
高効率ガソリン・エンジン搭載モデル	
BMW X2 xDrive20i M Sport	6,280,000 円
BMW X2 M35i xDrive	8,100,000 円
電気自動車	
BMW iX2 xDrive30 M Sport	7,420,000 円

- 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金（消費税を除く）、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。
- 右ハンドル、BMW X2 xDrive20i M Sport および BMW X2 M35i xDrive: 7 速 DCT 仕様。

デザイン

フロント・デザインは、力強くシャープな印象を与える大型な BMW 特有のキドニー・グリル、BMW デザインの意匠の 1 つである環状のシグネチャーを 2 回繰り返すツイン・サーキュラーを進化させたアダプティブ LED ヘッドライトが印象的である。リヤ・デザインにおいては、ワイドで力強さを強調する水平方向のキャラクター・ライン、立体的な LED リア・コンビネーション・ライトが、特徴的である。サイドにおいては、ドア・ハンドルをドア・パネルと一体化させたフラッシュ・ハンドルの採用により空力特性に優れたスポーティかつエレガントな印象としている。

インテリアは、メーターパネルとコントロール・ディスプレイを一体化させ大型化し存在感を増しつつ、運転席側に傾けることで視認性を高め、タッチ操作による操作性を高めた BMW カーブド・ディスプレイを採用し、さらに、シフト・レバーを廃止し、センター・アームレストに操作系を全て納めることで、モダンな印象を高めている。また、センター・コンソールに Qi 対応機器（スマートフォン等）を置く事で、充電も可能となる等、利便性も高めている。リアは、大人 3 名が座れる空間を確保すると共に、40:20:40 分割可倒シートの採用により、ラゲッジ・スペースを有効活用することが可能である。例えば、BMW X2 M35i xDrive のラゲッジ・スペースは、大人 3 名乗車時には 560L、リア・シートを前方に全て倒すことで最大 1,470L にまで拡大することが可能である。

新型 BMW X2 には、BMW モデルとして初となる BMW オペレーティング・システム 9.0 が搭載され、運転席側に機能アイコンを縦に並べた再設計されたホーム画面を備えている。「QuickSelect」機能により、サブ・メニューに切り替えることなく機能に直接アクセスできるため、メニュー構造が大幅に改良され、操作しやすくしている。新しい BMW iDrive は、BMW カーブド・ディスプレイおよび BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントとも組み合わされ、一貫して、タッチ・ディスプレイと言語で操作できるように設計されている。また、好みのアプリをダウンロードすることが可能となり、スマートフォン同様に、BMW カーブド・ディスプレイ上で、操作することが可能である。

ドライビング・ダイナミクス

高効率ガソリン・エンジン搭載モデル BMW X2 xDrive20i（エックスドライブニーマルアイ）は、最高出力 150kW/5,000rpm、最大トルク 300Nm/1,450-4,500rpm を発揮する高効率な 2.0L 直列 4 気筒 BMW ツインパワー・ターボ・ガソリン・エンジンに、ダイナミックな走りを実現する 7 速ダブル・クラッチ・トランスミッション、快適性と操舵性を大幅に向上させるアダプティブ M サスペンションを搭載している。

高効率ガソリン・エンジン搭載モデル BMW X2 M35i xDrive は、BMW M 社が開発する、本格的なサーキット走行で培われた技術を余すことなく取り入れ走行性能を高めた M パフォーマンス・モデルである。最高出力 233kW/5,750-6,500 rpm、最大トルク 400Nm/2,000-4,500rpm を発揮する、高効率な 2.0L 直列 4 気筒 BMW ツインパワー・ターボ・ガソリン・エンジンに、左のパドル・シフトを 1 秒間引くことで、すべてのパワートレインとシャシー・システムを最もスポーティな設定に切り替えられる M スポーツ・ブースト機能付き 7 速ダブル・クラッチ・トランスミッション、4 輪駆動システム xDrive、フロント・アクセルに組み込まれた機械式リミテッド・スリップ・デファレンシャル、アダプティブ M サスペンション等々を組み合わせることで、ダイナミックな走りと共に、M パフォーマンス・モデルに相応しい駆けぬける歓びを提供する。
電気自動車 BMW iX2 xDrive30（エックスドライブサンマル）は、最高出力 190PS（140kW)、最大トルク 247kW を発揮する電気モーターを前輪および後輪に持つ、4 輪駆動モデルである。システム・トータルでの最高出力は 200kW、最大トルクは 494Nm であり、0-100km/h を僅か 5.6 秒*で駆けぬける。ボディ床下に収納されているリチウム・イオン電池のバッテリー容量は 66.5kWh であり、一充電での走行可能距離は 417-449km*である。

*: ヨーロッパ仕様値

ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能を搭載

BMW 社が国内認可取得モデルとして初めて導入したハンズ・オフ機能が搭載されている。「ハンズ・オフ機能付き渋滞運転支援機能」とは、高速道路[*1]での渋滞時において、ドライバーの運転負荷を軽減し安全に寄与する運転支援システムである。この機能は、ドライバーが絶えず前方に注意するとともに、周囲の道路交通や車両の状況に応じて直ちにハンドルを確実に操作することができる状態にある限りにおいて、一定の条件下において、ステアリングから手を離しての走行が可能[*2]となる。

*1: 高速自動車国道法に定める高速自動車国道、及び指定都市高速道路に分類される道路が対象。

*2: SAE International（Society of Automotive Engineers）が定めるレベル 2 の段階であり、自動運転ではなく、前方注視が必要となるなど、ある一定の条件が必要。

先進安全機能ドライビング・アシスト

高性能カメラ&レーダー、および、高性能プロセッサーによる高い解析能力によって、より精度と正確性が向上した、最先端の先進安全機能ドライビング・アシストを標準装備している。アクティブ・クルーズ・コントロール（ストップ&ゴー機能付)、レーン・チェンジ・ウォーニング（車線変更警告システム）およびレーン・ディパーチャー・ウォーニング（車線逸脱警告システム)、衝突回避・被害軽減ブレーキ（事故回避ステアリング付)、クロス・トラフィック・ウォーニング、ペダル踏み間違い急発進抑制機能を、標準装備としている。

さらに標準装備となるパーキング・アシスタントには、車両が時速 35km 以下で直前に前進したルートを最大 50m までを記憶し、その同じルートをバックで正確に戻ることが可能となるリバース・アシスト機能が採用されている。日本に多数点在する細い道での対向車とのすれ違いに困った際など、安全かつ正確に、元のルートに復帰することが可能となる。

BMW コネクテッド・ドライブ

BMW コネクテッド・ドライブは、車載通信モジュールにより、ドライバー、クルマ、そして取り巻く情報を IT ネットワークで繋ぐことで、「もしもの時に備える万全の安全性」、「カーライフを進化させる革新の利便性」、「充実の情報と最新のエンターテインメント」を提供する総合テレマティクス・サービスとして 2013 年に輸入車として初めて導入された。また、スマートフォン向けアプリの導入により、車両情報やニュース等へのアクセスを可能にし、顧客の利便性を向上させるサービスを提供してきた。さらに、2021 年夏には、より操作性・利便性を高めた新たな機能を追加すると共に、新しいスマートフォン向けアプリ「My BMW」を導入し、車とユーザー、情報をシームレスに繋げ、より快適でスマートなモビリティ・ライフをサポートする新しいパーソナル・アシスタント・サービスとして生まれ変わった。また、BMW デジタル・キー・プラスの標準装備により、車両のキーを持たずとも、対応のスマートフォン、スマートウォッチを携行していれば、車両に近づくだけでロック解除が可能であり、さらに車室内にロック解除に使用したデバイスがあるだけで、エンジンの始動も可能である。

BMW Intelligent Personal Assistant（インテリジェント・パーソナル・アシスタント）

BMW インテリジェント・パーソナル・アシスタントは、AI 技術を活用することで、音声会話だけで車両の操作、情報へのアクセスが可能となる BMW 最新の機能である。今までの音声入力と異なり、より自然な会話に近い言葉で、ドライバーの指示や質問を理解し、適切な機能やサービスを起動可能にする他、使用頻度に応じてドライバーの好みを学習し、長く乗り続けるほどドライブにおける真のパートナーとしての役割を担うことが可能となる。そして、BMW のインテリジェント・パーソナル・アシスタントの最たる特徴は、ドライバーがシステムの「名前」を自由に付けることが可能な点である。例えば、BMW インテリジェント・パー

ソナル・アシスタントを起動する際、「OK, BMW（オーケー・ビー・エム・ダブリュー）」だけでなく、例えば、「X2」と、呼びかける言葉を任意に設定することが可能なため、より身近な存在としてストレス無く使用することが出来る。
車両に話し掛けることで、車両の操作、目的地の設定等が可能であり、Apple CarPlay への対応や、BMW コネクテッド・ドライブ標準装備により、スマートフォンで事前に検索した目的地を車両に送信する等、大きな利便性がある。

Amazon Alexa
Alexa は、Amazon が提供するクラウドベースの音声サービスあり、全世界で利用され、日本においても、日本語による音声サービスが提供されている。Alexa は、Amazon Echo シリーズなどのデバイスに搭載されており、Alexa に話しかけるだけで天気予報やニュースの確認、音楽ストリーミングの再生、Amazon.co.jp でのショッピング、対応するスマートホームデバイスの操作などが可能になる。オーナーのスマートフォン上アプリ「My BMW」を使用して、車両を Alexa と連携させることにより、自宅さながら、Alexa の様々なサービスや機能を利用することが可能となる。

3 年間の主要メインテナンスが無償となる BMW サービス・インクルーシブ・プラス
3 年間の主要メインテナンス無償提供、タイヤ/キーの破損や紛失の際の費用サポート等が含まれる「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」が全車に付帯されている。この「BMW サービス・インクルーシブ・プラス」は、2016 年より BMW 全モデルに標準装備された新しいメインテナンス・パッケージであり、顧客に対してより安心なドライブを提供している。

主な車両諸元（ヨーロッパ仕様値）

- BMW X2 xDrive20i
  全長 4,554mm、全幅 1,845mm、全高 1,575mm、ホイールベース 2,692mm、車両重量 1,690kg、排気量 1,998cc、直列 4 気筒ガソリン・エンジン、最高出力 150kW/5,000 rpm、最大トルク 300Nm/1,450-4,500rpm。

- BMW X2 M35i xDrive
  全長 4,567mm、全幅 1,845mm、全高 1,575mm、ホイールベース 2,692mm、車両重量 1,770kg、排気量 1,998cc、直列 4 気筒ガソリン・エンジン、最高出力 233kW/5,750-6,500 rpm、最大トルク 400Nm/2,000-4,500rpm。

- BMW iX2 xDrive30
  全長 4,554mm、全幅 1,845mm、全高 1,560mm、ホイールベース 2,690mm、車両重量 2,095kg、最高出力 200kW、最大トルク 494Nm、リチウム・イオン・バッテリー容量 232.0Ah/64.7kWh、一充電走行距離 417-449km。

BMW X モデルについて
BMW X モデルは、1999 年に BMW X5（エックスファイブ）、2004 年に BMW X3（エックススリー）、2008 年に BMW X6（エックスシックス）、2010 年に BMW X1 の初代モデルが誕生している。その後、2014 年には BMW X4（エックスフォー）、2018 年には BMW X2（エックスツー）、2019 年には BMW X7（エックスセブン）、2023 年には BMW XM（エックスエム）が誕生し、現在は 8 モデルで構成されている。

この内、BMW X1、BMW X3、BMW X5、BMW X7、BMW XM は、それまでの武骨な SUV とは明確な一線を画す、オンロード走行性能を高めたスポーツ・アクティビティ・ビークル（SAV）という革新的なコンセプトによって新たなセグメントを確立し、BMW X2、BMW X4、BMW X6 は、スポーティでエレガントなクーペ・デザインと BMW X モデルの力強い存在感を兼ね備えた、スポーツ・アクティビティ・クーペ（SAC）と呼ばれるコンセプトを形成している。

本件に関する読者および視聴者からのお問合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: http://www.bmw.co.jp